

## 「平成 30 年度子供の学習費調査」結果のポイント

文部科学省が 2019 年 12 月 18 日に発表した、「平成 30 年度子供の学習費調査」の結果の概要を紹介します。公立学校は、全学校種において近年おおむね横ばいで推移。私立学校は、幼稚園、小学校、中学校において近年増加傾向。私立高等学校（全日制）は前回調査から減少。

\* 調査時期：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月。調査対象：公立ならびに私立の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校（全日制）の幼児・児童・生徒の保護者。全国 1,140 校 29,060 人を対象とした抽出調査

### 1. 学習費全体の状況

保護者が支出した 1 年間・子供一人当たりの学習費総額（保護者が子供の学校教育及び学校外活動のために支出した経費の総額）は、以下のとおりとなっている。（表 1）

表 1：平成 30 年度学校種別の学習費総額

区 分		学習費総額（公私比率）
幼稚園	公立	¥223,647 (1.0)
	私立	¥527,916 (2.4)
小学校	公立	¥321,281 (1.0)
	私立	¥1,598,691 (5.0)
中学校	公立	¥488,397 (1.0)
	私立	¥1,406,433 (2.9)
高等学校 (全日制)	公立	¥457,380 (1.0)
	私立	¥969,911 (2.1)

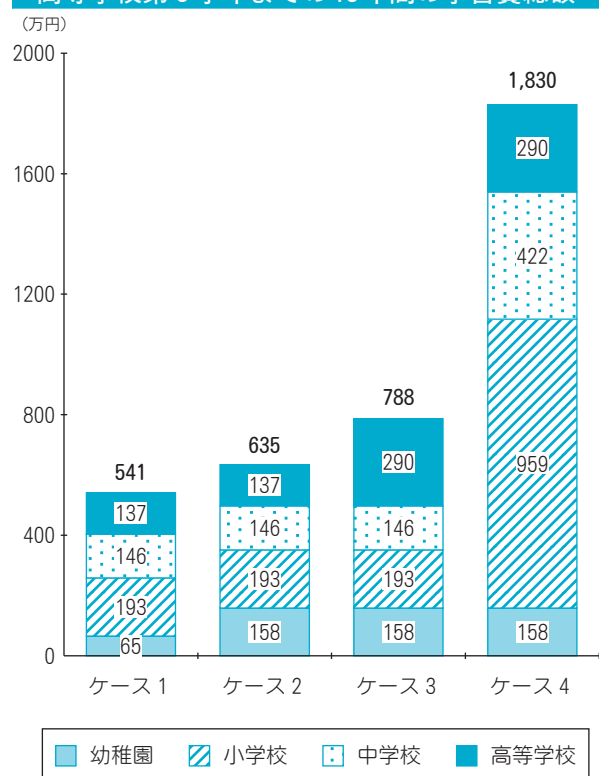
### 2. 幼稚園から高等学校卒業までの学習費総額

平成 30 年度における幼稚園 3 歳から高等学校第 3 学年までの 15 年間について、学習費総額をすべて公立に通った場合や、すべて私立に通った場合など 4 つのケースに分けて「学習費総額」を比較。

すべて公立に通った場合は 541 万円に対し、すべて私立に通った場合は 1,830 万となっている。

（図 1）

図 1：平成 30 年度における幼稚園 3 歳から高等学校第 3 学年までの 15 年間の学習費総額



ケース 1：全て公立に通った場合

ケース 2：幼稚園は私立、小学校・中学校・高等学校は公立に通った場合

ケース 3：幼稚園・高等学校は私立、小学校・中学校は公立に通った場合

ケース 4：全て私立に通った場合

（参考）公立・私立学校に通う全幼児・児童・生徒数全体に占める公立・私立学校に通う者の割合（平成 30 年度）

幼稚園（公立：15.5% 私立：84.5%）

小学校（公立：98.8% 私立：1.2%）

中学校（公立：92.6% 私立：7.4%）

高等学校（公立：67.0% 私立：33.0%）

出典：文部科学省「平成 30 年度学校基本統計（学校基本調査報告書）」

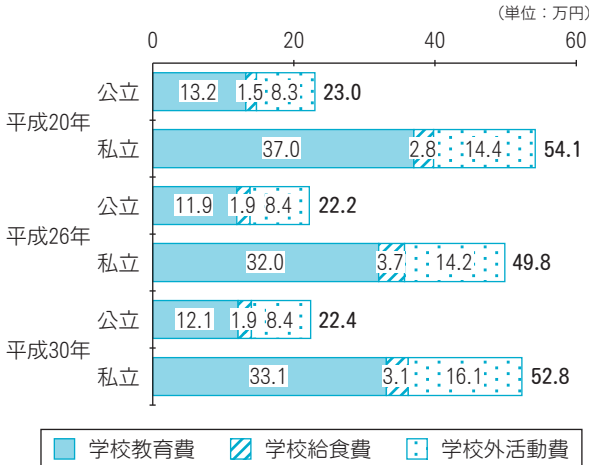
### 3. 学校種別の学習費総額

#### (1) 幼稚園

平成30年度の学習費総額を見ると、公立幼稚園では22万4千円。私立幼稚園では52万8千円となっている。

公立幼稚園は近年おおむね横ばいで推移。私立幼稚園は近年増加傾向にある。(図2)

図2：公立・私立幼稚園における学習費総額の推移

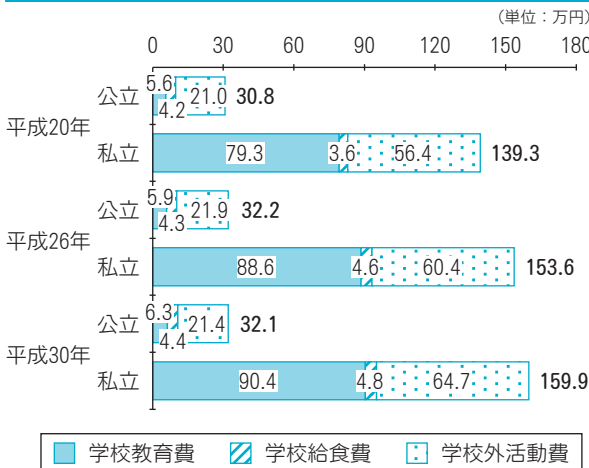


#### (2) 小学校

平成30年度の学習費総額を見ると、公立小学校では32万1千円、私立小学校では159万9千円となっている。

公立小学校は近年おおむね横ばいで推移。私立小学校は近年増加傾向にある。(図3)

図3：公立・私立小学校における学習費総額の推移

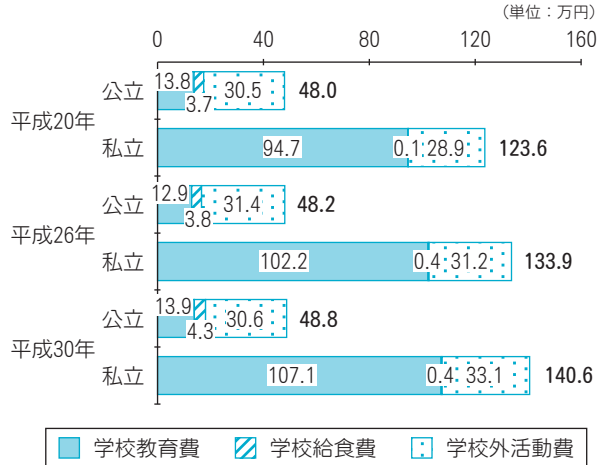


#### (3) 中学校

平成30年度の学習費総額を見ると、公立中学校では48万8千円、私立中学校では140万6千円となっている。

公立中学校は近年おおむね横ばいで推移。私立中学校は近年増加傾向にある。(図4)

図4：公立・私立中学校における学習費総額の推移

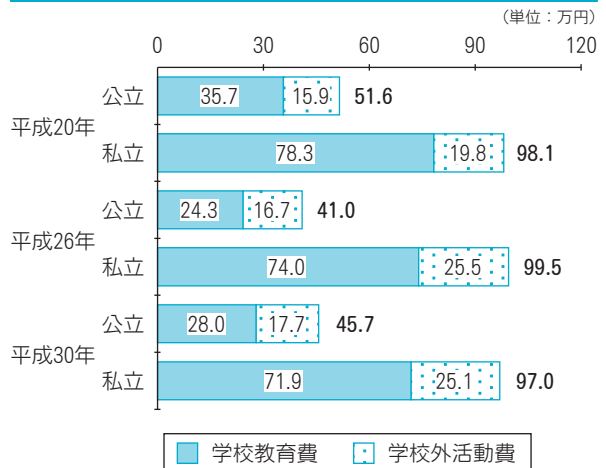


#### (4) 高等学校(全日制)

平成30年度の学習費総額を見ると、公立高等学校では45万7千円、私立高等学校では97万円となっている。

公立高等学校は近年おおむね横ばいで推移。私立高等学校は平成30年に「授業料」及び「補助学習費」が減少し、以前よりも総額が少なくなっていた。(図5)

図5：公立・私立高等学校における学習費総額の推移



(奥 桂子)